

ひるがみ

第 76 号

平成 31 年 3 月 16 日

発行

障害者支援施設
阿智温泉療護園

社会福祉法人 下伊那社会福祉会

〒395-0304

長野県下伊那郡阿智村智里昼神

TEL 0265-43-3172 FAX 0265-43-3173

ホームページ

<http://achion.com/ryougo/>

忘年会

十二月十九日、毎年恒例の利用者忘年会が行われました。今年度は北棟、南棟の余興に加えて利用者全員参加のミニゲームを行いました。

第一部の余興はまず北棟が行いました。今年には二人羽織でおどるやシュークリームを食べました。四苦八苦しなから食べる姿に利用者は大笑いしていました。中には職員の頑張りにも感動し涙を流す利用者もいました。南棟

北棟からは二人羽織を披露！

はバブリーダンスで再ブレイクした荻野目洋子さんの「ダンシングヒーロー♪」を披露してくれました。華麗なダンスに利用者も見とれていました。最後は全員参加のじゃんけん大会を行いました。園長にじゃんけんの札を選んでもらいそれに対して利用者にも札を選んで勝負しました。最後まで残った人には商品が用意されており皆真剣にじゃんけんの札



南棟からはバブリーダンスを披露！



ボリューム満点のオードブルでした

を選んでいました。第二部の食事は去年と同様クリスマスオードブルを食べました。チャーハンやチキン等、いつもは食べない御馳走を前に利用者の皆さんは次々と食べて行きました。「美味しい。」との言葉もありました。最後には「もう、満腹。」と満足そうにっていました。平成最後の忘年会でしたが皆、笑顔を浮かべていて大成功で締めくくることができました。(T・S)

歌の発表・交流会

十一月下旬、阿智第一小学校五年生の皆さんによる歌の発表と短時間でしたが交流会を行いました。

始めに五年生の皆さんによる合唱を三曲披露して頂きました。小学生らしいのびやかな歌声は聞いていた利用者さんの心に響き、皆さんとても嬉しそうに聞いていました。その後、グループに分かれ交流会を行いました。利用者の皆さん



阿智第一小学校五年生の皆さんに来ていただきました。



グループに分かれて交流会。

は緊張している様子でしたが、自己紹介や児童の皆さんの質問に一生懸命ご自分の言葉で答えていました。中にはご自分の孫や甥、姪と重ねている様子の方もいらっしゃいました。皆さん貴重な時間を過ごせていつもより穏やかな表情をされている方が多く、職員としても嬉しかったです。この機会を与えて下さった阿智第一小学校の先生、児童の皆さん、本当にありがとうございました。

(A・K)

クリスマス映画会

十二月二十四日、レクリエーションで映画会を行いました。プロジェクターとスクリーンを使用し、映画館の気分を味わってもらおうという企画です。以前より利用者さんから「外国の映画を観てみたい。」と言った希望があり、今回は「天使にラブソングを」という映画を上映しました。

殺人事件を目撃したクラブ歌手がかくまわれた修道院で巻き起こす騒動を描いたコメディです。テンポの良い掛け合いの場面で「ブツ」と吹き出す方やシスター達の歌の場面で一緒に音楽にのり楽しんでる方の姿が多く見られました。上映後「面白かった」「良かった。」と言う声を多くいただきました。次回観たい映画を希望される方もいました。今後も定期的に行い楽しんで頂きたいと思います。

(S・M)

朗読会

二月十八日、レクリエーション「朗読会」が行われました。この企画は初めての試みであり、スクリーンに映像を映し出し、職員が語り部となってお話を朗読すると言うものです。普段の朗読同好会の様に図書館の司書さんや、ははき木さんの様に語り部のプロではなく、いつも話をしている職員による朗読でしたので、利用者さ

んと一緒に私もワクワクしていました。

「神様の学校」は貧乏神の活躍を通し「どんな神も（人間も）必要である」と言う教訓の話。

「ネズミに騙された猫」は十二支が決定した言われから猫がネズミを追いかける理由を面白く表現していました。職員はそれぞれに工夫して面白く語りっており、大変温かな雰囲気にも包まれました。次回が又楽しみです。

(F・I)



慣れない語り部に職員もワクワク！

初釜・野点

一月十七日木曜日、

毎年恒例の「初釜、野点」が行われた。利用者の皆さんもこの季節のお楽しみ行事として心待ちにされていた。今年初めて体験されるOさんは何をするのか楽しみの様であった。

午後二時頃から施設内には、音楽と共に、お香の香りが漂い始めた。福澤園長が準備からお茶点で迄全てされる。初めに園長より挨拶があり、点てられた



今年も園長にお茶を点てていただきました。

お茶とお菓子を利用者の皆さんは堪能。少し苦くて甘みも感じる点てられたお茶を頂きながら甘い饅頭を口に入れる。職員もご相伴にあずかり楽しいひと時を過ごした。今年も新年を迎えたと改めて感じるひと時であった。

(S・H)

節分豆まき

「食っちゃまうぞ〜!」

突如現れた元気な赤鬼。続いて参上!おとなしめの緑鬼。食堂に居た利用者さん達は、待ってましたとばかりに鬼達めがけて、豆を投げつきました。鬼達に驚く利用者さんも居れど、笑い出す利用者さんも居ました。そんな

中、利用者Sさんが、カ一杯豆を投げると：赤鬼が飛びように倒れる!それを見て大笑い。つられて隣の利用者Uさんも大笑い。赤鬼、緑鬼が順番で周ってくるのを今か今かと待ちわびている利用者さんの姿が見受けられました。続いて鬼達は食堂から経管栄養の利用者さん達の元を訪れ、豆まきに参加して

頂きました。笑顔溢れる素敵な豆まきでした。

(Y・U)



鬼は〜外!福は〜内!



介護員室だより

朝Kさんのお部屋に行き「おはようございます」と挨拶するとベッドから上体を起こしニコツと微笑んでくれます。近づいて「さあ、車椅子に乗りましょう」と肩に手をかけるととても可愛らしい笑

顔を見せ、こちらに手を伸ばして抱き着くような仕草をしてくれます。この笑顔や仕草を見るとこちらも思わず口元がほころび「今日も一日頑張ろう!」という気持ちにさせてもらえます。これを私は「Kさんの魔法の笑顔」と心の中で思っ

おり、失敗したり気持ちが落ち込んでいたりする時はこの笑顔に慰められています。利用者さん全員にも言えるのですが皆さん魔法の笑顔を持っておられます。今日もその笑顔に励まされ頑張ろうと思えるのです。

(M・K)

今年度の事業報告

園長 福澤茂雄

今年度の事業について簡単にお知らせします。

一・下剤に頼らない排泄支援

下剤が過剰にならないようコントロールすることは、利用者さんの生活の質の向上と職員の負担軽減につながります。現状から少しでも改善できないか再評価した結果七名の方の改善が見られた。

二・浴室の改修及び特殊浴槽の購入

大浴槽を埋め、寝浴タイプの特殊浴槽を購入した。湯船に浸かり



特殊浴槽を設置。

たかった利用者から好評を得ている。また、職員の業務効率化と腰痛防止につながった。

三・施設のイメージの向上を図る

全社協の社会福祉HERO・Sのブログに当園の若手女性職員のインタビュー記事を掲載していただいた。



書き初め

今年の書き初めも、書道同好会の方はもちろん、そうでない方も沢山集まってくださいました。

普段から腕を動かす事が好きな方は、時々職員の手を借りながら黙々と書き進めており、苦手な方も支えてもらいながらゆっくりと線を引いていました。お手本となる字は書き初めという事もあって、いつもより難しい漢字が多く、補助をする職員も四苦八苦していました。

もちろん、自分の好きな漢字を書く方もいました。自分から「これ書きたい」と希望を言ってくれ、お手本が

ない中一生懸命書いてくださいました。何回も書き直し、うまくいかず最初は気分が落ち込んでいた様子でしたが、結果的に満足のいく作品ができたとの事で、大喜びでした。

(N・W)



同好会以外の方も沢山集まりました。

現況報告

平成三十一年

三月十五日現在

利用者 四十九名

職員 四十五名

(非常勤職員を含む)

編集後記

今年度は「介護員室だより」のコーナーを設け、職員が利用者さんと接している中で、日々感じていることをお伝えしてきました。今後とも機関誌「ひるがみ」を宜しくお願いたします。

